

(9) 埴輪づくり 教室（対象学年：1年生以上）

ね ら い	埴輪の由来を学習するとともに、埴輪を実際に作ることを通して、古墳時代の生活の様子に興味関心をもつ。
3つの基軸との関連性	・地域や伝統、文化を踏まえた教育

ア 学習プログラムの概要及び使用教材・教具

- 埴輪の由来や種類を学ぶ
- 埴輪の作り方を学ぶ



粘土を少しずつつける



基本的な形を作る



目・鼻・耳・腕をつけて完成！

- 実際に埴輪を作る



- 素焼き風粘土を使う
- 粘土を細切れにパイプに貼り付ける
- イメージ通りに形を作る
- 目・耳・鼻・腕などをつける
- 半日ほど乾かして、完成



【素焼き風粘土】

紙粘土と同様に細工できます。乾燥すると素焼き風に仕上がるので、窯で焼かなくてすみ、いつでも水で修正できるよ。



親子で共同作業



お互いの作品を鑑賞しながら制作

学 習 活 動	指 導 ・ 支 援 上 の 留 意 点	備 考
<h2 style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 0;">埴輪の由来や種類について学習しよう</h2>		
<p>1 埴輪に関するクイズについて考える。</p> <p>2 埴輪の形・種類についてくわしく学ぶ。</p>	<p>○ 使用目的 ○ 制作された時代</p> <p>○ 焼き方 ○ 形・種類 など</p> <p>○ 土偶との違いや形の多様性について、模型や画像でくわしく説明する。</p>	
<h2 style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 0;">埴輪の作り方を確認しよう</h2>		
<p>1 素焼き風粘土を使う。</p> <p>2 10等分しておく。</p> <p>3 パイプに粘土をつける</p> <p>4 形を整える。</p> <p>5 半日ほど乾かす。</p>	<p>○ 1袋分を4等分する。</p> <p>○ へらなどを使わせる。</p> <p>○ 粘土をよくこね、少しずつつけさせる。</p> <p>○ 水をつけながら成形させる。</p> <p>※ 難しいところは共同で作業させる。</p> <p>○ しばらくは柔らかいので十分気をつけさせる。</p>	<p>○ 埴輪の模型</p>  <p>○ 素焼き風粘土 パイプ へら 筆 紙コップ など</p>
<h2 style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 0;">自分で考えたオリジナル作品を作ろう</h2>		
<p>・ 自分のオリジナル作品を完成する。</p>	<p>○ 他の人の作品も参考にしながら、オリジナルの作品を完成させる。</p>	 <p style="text-align: center;">作品例</p>

ウ 感 想 ※先生 ☆児童生徒

※ 子どもたちは埴輪についての理解を深め、自分なりの埴輪完成をめざして、最後まで楽しそうに取り組んでおりました。できあがった作品は宝物のようにして喜んで持ち帰っておりました。

※ 親子で楽しく埴輪を作り、有意義な学年活動を行うことができました。

☆ はにわにはいろいろな形があり、昔の人がお墓にかざっていたということを初めて知りました。はにわの作り方を教えてもらい、形を自分で考えて作れたのがよかったです。

☆ はにわのクイズがすごくおもしろかったです。私は猫のはにわを作りました。残った粘土でプレゼントを作りました。本当にありがとうございました。

